

(様式第1号の③)

令和2年度強くしなやかな食品産業づくり事業補助金 事業実施計画書  
兼 実績報告書 (※)

※実績は各項目の欄内に朱書きにより記載すること

■事業区分	地消地産化パッケージモデル事業		
■事業種目	ネットワーク構築支援		
■プロジェクト名 (事業実施主体が行う事業名)			
県産〇〇〇〇を活用した新商品開発のための試作			
■事業実施主体名	有限会社〇〇食品	■住 所	島根県〇〇市〇〇町〇〇-〇
■代表者職・氏名	代表取締役〇〇〇 〇	■従業員数	〇〇人
■担当者職・氏名	部長〇〇〇 〇〇		
■プロジェクトの目的と概要説明 (●項目ごとに簡潔に記載)			
<p>●現状 有限会社〇〇食品は県産原材料を使って加工したこだわりの商品を県内外に販売しており、県産原材料の取り扱い量は現在で年間〇〇トンになる。 取引先は地元スーパーから百貨店まで、現在〇〇社になる。</p> <p>●課題 現在、販路が県内のみであるが、全国の人にも食べてもらいたいという思いがあり、近く通信販売事業を実施する計画ではあるが、現在の商品数では販路拡大が乏しいのが課題である。</p> <p>●目的 県産原材料である〇〇〇を元に新商品を開発し、全国に向けて通信販売するために、新商品の試作を行う。</p> <p>●概要 有限会社〇〇食品 社員への技術研修</p>			
<p>誰が (Who)、何を (What)、なぜ (Why)、いつ (When)、どこで (Where)、どのように (How) 行うのか、簡潔に記載してください。 写真や補足資料がある場合は、添付してください。</p>			
■プロジェクトの内容、実施スケジュール (該当に☑及び内容等を具体的に記載)			
<input type="checkbox"/> 1次産業～3次産業の事業参加者との連携を推進するための、研修会開催、先進地視察 <input type="checkbox"/> 商品化に向けた市場調査、市場分析等 <input checked="" type="checkbox"/> 商品実現の可能性を探る試作、技術導入、分析等			
ソフト事業			
年 月	内 容		
2020. 5	商品開発検討会 (事業実施計画の確認)		
6	商品開発検討会 (試作計画)		
7	商品試作 (1回目)		
8	商品開発検討会 (デザイン計画)		
9	商品試作 (2回目)		
9	完成試食会		
10	商品開発検討会 (技術研修計画)		
11	社員への技術研修実施		

■補助対象経費（下表の合計）		補助金申請額は補助対象経費の2分の1以内、且つ50万円以内であること。	500,000円
■補助金申請額			250,000円
■資金の調達方法（該当に☑）		<input checked="" type="checkbox"/> 自己資金 <input type="checkbox"/> 金融機関等借入 <input type="checkbox"/> その他	
■補助対象経費内訳（消費税及び地方消費税）		経費は、消費税及び地方消費税を除いた額を記載してください。	
ソフト事業			
内 容	経費（単位：円）	積算根拠	
試作用原材料費	100,000	原材料@50,000×2回	※別添見積書
商品分析・検査費	100,000	検査@100,000×1回	※別添見積書
商品デザイン費	300,000	デザイン代@150,000×2	
合 計	500,000		
<b>■本事業に関連した取り組みについて、今までに受けた、または申請予定の補助金・委託費等</b> <small>（本事業を含め、国・県・市町村・財団等（各々に関連した特殊法人等の外郭機関を含む）による助成事業（委託費・補助金等）において、「過去5年以内に実施済」または「現在実施中」もしくは「現在申請中」及び今後申請予定）とされているもののうち、本補助事業計画と類似した事業内容（同一事業者の関与または同一の技術シーズを用いるなど）と思われるものまたはその恐れがあるものについて記載）</small>			
●補助金等の名称			
●事業等実施期間			
●補助等金額			
●事業内容			